



発行所 日本看護連盟
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627
発行人 草間朋子

No. 386

2018年10月10日号



副大臣ご就任 おめでとうございます！

すでに周知のことかと思いますが、10月4日、あべ俊子衆議院議員が外務副大臣に、たかがい恵美子参議院議員が厚生労働副大臣に就任されました。

改めて、おめでとうございます！

両副大臣のますますのご活躍を期待しております。



「ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場)」セミナー開催

10月3日、JNAホール（東京都渋谷区）において「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）」セミナーが開催され、約250人が参加しました。

開会にあたって、福井トシ子会長は次のように挨拶されました。

日本看護協会では、平成30年度から「看護職の働き方改革」を重点政策の一つに掲げた。3月に「看護職の社会経済福祉に関する指針～看護の職場における労働安全衛生ガイドライン～」(2004年)を改訂し「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)をめざして」を取りまとめ、公表した。ヘルシーワークプレイスという言葉はまだ定着していないかもしれないが、WHOが2012年に提唱したもので、日本看護協会がこのヘルシーワークプレイスを活用して健康で安全な職場づくりに取り組んでいく。看護職の働く場が多様化するとともに、労働環境が厳しさを増している。厳しい状況は看護職のモチベーションにも影響する。また、近年、職場の暴力・ハラスメントも問題となっている。今回のセミナーでは、これらの問題にどう取り組むか、お招きした講師の方からお話を伺いたい。

このニュースレターは、職場で看護政策や政治について考える時の資料になるよう、日本看護連盟が施設連絡員や代表者、役員等に対し特別に配布するものです。ミニ研修会や会議の資料等として積極的にご活用ください。

福井会長の挨拶に続いて、熊谷雅美常任理事が「看護職の労働安全に関する日本看護協会の取り組み」について説明しました。続いて、労働政策部看護労働課の奥村元子専門職から「看護職の健康と安全に配慮した 労働安全衛生ガイドライン ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）をめざして」のポイントが説明されました。

このあと、日本体育大学の藤田圭一教授は「何故ハラスメントが起こるのか～ハラスメントを認めない職場づくり」を講演されました。そして、北里大学の島津明人教授が「職場のメンタルヘルスと組織の活性化」について講演されました。

質疑応答のあと、石田まさひろ参議院議員が次のように挨拶されました。

午前中に、厚生労働省で意見交換を行った。患者さんからの暴力的なクレームにどう対処するかという内容だった。普段は丁寧に対応し、互いに納得するようにしているが、なかには破壊的なクレームがあって対応した看護師が心を病んでしまうケースが出てきており、こういう事態に国として何か対処できないかという声が上がっていた。こういう事態について厚生労働省がどう考えているか、意見交換した。クレームに対するガイドラインは一応あるが、破壊的なクレームに関しては想定されていない。そういった事例がどれだけ報告されているか確認し、同対応すればいいか今後検討していくというところで話は終わった。今日の話に関係してくると思うが、安心して健康に働ける職場環境にしていくには、お互いの努力が必要で、場合によっては法制化も必要かもしれない。なお、ヘルシーワークプレイスという言葉を確認するためにネットを検索したら、最初に出てきたのは看護協会だけだった（笑）。看護界は、もともと女性の働く環境づくりをリードしてきて、実績を積み重ねてきた。女性の働き方については、常に一步先を進んでいるのが看護協会だと思っている。ここで新たにヘルシーワークプレイスという概念を提示してくれた。是非実現してほしいと思う。



第57回塩崎恭久と明日を語る会 in 東京 開催

10月4日、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）において、第57回塩崎恭久と明日を語る会 in 東京が開催されました。

塩崎議員は、今夏起こった各地の災害、自民党総裁選挙、少子高齢化と社会保障の問題、日本の産業構造の問題、データヘルス、特別養子縁組制度など、最近取り組まれてきた活動について話されました。